

# 無 窓 階 算 定 書

防火対象物の名称

防火対象物の所在地

年 月 日 算定

算定者氏名

( 階 )

床面積 (A) m <sup>2</sup>		必要開口部面積 (A/30) m <sup>2</sup>		有効開口部面積 合計 m <sup>2</sup>		算定結果 普 無		消防機関判定 普 無	
建具 記号	開口部位置 又は方角	床からの 高さ (m)	幅 (m) × 高さ (m) × 箇所	開口部面積 小計 (m <sup>2</sup> )	開口部種別	備 考			
合計									

※無窓階の説明

- 1 11階以上の階にあつては、直径50cm以上の円が内接することができる開口部（以下避難開口部という）の面積の合計が、当該階の床面積の30分の1を超える階以外の階。
- 2 10階以下の階にあつては、避難開口部のほかに、直径1m以上の円が内接することができる開口部又はその幅が75cm以上で高さが1.2m以上の開口部を2箇所以上有し、避難開口部とこの開口部の面積が床面積の30分の1を超える階以外の階。

※条件

- 1 床面から開口部の下端までの高さが1.2m以下であること。
- 2 内部から容易に避難でき、かつ外部から開放し、又は容易に破壊することにより進入でき消火活動が有効に行える構造であること。
- 3 開口のため良好な状態に維持されていること。
- 4 道又は道に通ずる復員1m以上の通路、その他の空地に面していること。